

2018年6月13日
株式会社東陽テクニカ

～蛍光顕微鏡が超解像顕微鏡に！～
既存の蛍光顕微鏡の解像度を 90nm にする
「ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール」を発売

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、超解像顕微鏡モジュールを開発・製造する BioAxial SAS（本社：フランス・パリ、以下 バイオアキシアル社）の新製品、「ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール」を 2018 年 6 月 27 日より販売いたします。ラインアップの拡充により、ライフサイエンス向けイメージング事業の強化を図ってまいります。

「ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール」は、市販されている殆どのメーカーのライフサイエンス用蛍光顕微鏡^{※1}に取り付けることができ、既に所有している蛍光顕微鏡の性能を、容易にかつ安価に、生細胞観察が可能な超解像顕微鏡レベルにまで向上させます。

本製品を、2018 年 6 月 27 日（水）～6 月 29 日（金）に東京ビッグサイトで開催される「BIO tech 2018 第 17 回 バイオ・ライフサイエンス研究展」に初展示いたします（ブース番号：東 7 ホール E51-12）。



ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール

「ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール」は、取り付けるだけで簡単に、殆どのメーカーのライフサイエンス用蛍光顕微鏡を 90nm の解像度を達成する超解像顕微鏡に変えるモジュールです。生体に照射する光の強度が一般的な蛍光顕微鏡と同等以下で済むため、超解像顕微鏡で課題となっている光毒性による影響を大幅に軽減し、また、蛍光試薬の褪色も抑えるという、今年 4 月に発売した世界で唯一の共焦点蛍光顕微鏡用超解像モジュール「CODIM100 超解像モジュール」^{※2}の 2 つの特長、“低光毒性”ならびに“蛍光試薬の低褪色性”を引き継ぎ、長時間かつ高時間分解能のタイムラプス測定を実施し、生体现象を的確に検証・評価する

ことができるようになります。生細胞内における蛋白質の挙動を鮮明に観察、特に、長時間・高時間分解能のタイムラプス測定を希望する研究者には理想的なシステムです。

さらに、独自のオペレーションソフトウェアを搭載し、直感的な操作が可能です。また、既に使用している蛍光試薬をそのまま利用でき、これまでの実験プロトコルを変更すること無く、過去の実験データを継承しつつ、より詳細な評価を実現することができます。初期導入コストおよびランニングコストも抑えることができます。

【「ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール」の主な特長】

- 市販されている殆どのメーカーのライフサイエンス用蛍光顕微鏡に取り付け可能
- 低光毒性の実現により、生細胞を安定して観察可能
- 一般的な蛍光試薬をそのまま利用可能
- 長時間かつ高時間分解能によるタイムラプス測定が可能
- 488nm のレーザ波長で最大 90nm の分解能を実現

【製品データ】

- 製品名：ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール
- システム構成：ユニバーサル CODIM 本体+コントローラ+PC
- 発売日：2018年6月27日

【「BIO tech 2018 第17回 バイオ・ライフサイエンス研究展」に出展】

2018年6月27日（水）～6月29日（金）に東京ビッグサイトで開催される「BIO tech 2018 第17回 バイオ・ライフサイエンス研究展」に、本製品を展示いたします。

- 会期：2018年6月27日（水）～6月29日（金）
- 会場：東京ビッグサイト 東7ホール
- ブース番号：E51-12
- 展示会公式サイト：<http://www.bio-t.jp/>

<東陽テクニカセミナー>

- タイトル：ライブセル超解像画像取得モジュール CODIM
「共焦点顕微鏡を活用したライブセルイメージ取得において低光毒性と超解像顕微鏡イメージを実現するアドオンモジュール！！」
- 日時・場所：6月27日（水）13:30～14:00、東7ホール E-10
- セミナー紹介ページ：<http://d.bio-t.jp/ja/Expo/4415664/>

※1 蛍光現象を利用し、試料の蛍光の有無や種類を観察できる。医学、生物学などに広く利用されている顕微鏡。

※2 2018年3月30日付「CODIM100 超解像顕微鏡モジュール」ニュースリリース

[～細胞やたんぱく質を生きのまま100nm以下の超解像度で観察ライフサイエンス分野の研究開発を支援～一般的な共焦点蛍光顕微鏡を“超解像顕微鏡”に変える世界で唯一の「超解像顕微鏡モジュール」を発売](#)

<BioAxial SAS について>

バイオアキシアル社は、2010年に Gabriel Sirat によって設立された会社で、世界で唯一円錐回折（コニカル・ディフラクション）技術を応用した超解像顕微鏡モジュールを開発・販売しています。

BioAxial 社 Web サイト：<http://www.bioaxial.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ ナノイメージング & アナリシス

TEL：03-3245-1239（直通） E-mail：bunseki@toyo.co.jp

「ユニバーサル CODIM 超解像顕微鏡モジュール」サイト：

<https://www.toyo.co.jp/microscopy/products/detail/UCODIM.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。